

## 令和3年度（2021年度）教育警察常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和3年（2021年）11月19日（金）
- 2 視察者 教育警察常任委員会（7名）  
吉田孝平（委員長）、中村亮彦（副委員長）、田代国広、  
高木健次、前田憲秀、岩本浩治、岩田智子

### 3 視察の概要

#### （1）阿蘇神社災害復旧現場（阿蘇市）

阿蘇神社の社殿群は、天保6年（1835年）から嘉永3年（1850年）にかけて熊本藩の寄進によって造営されたもので、神殿や楼門等の6棟は国の重要文化財に指定されている。

平成28年の熊本地震で神社全体が被災したが、重要文化財の神殿3棟と脇門2棟は平成31年3月、拝殿（重文未指定）は令和3年6月に災害復旧工事が完了した。

今回の視察では、災害復旧の進捗状況について説明を受け、令和5年12月に完成予定である楼門の復旧現場を見学した。

重要文化財の神殿、楼門等は国・県・市の補助事業として復旧工事を行っており、重要文化財の指定を受けていない拝殿、翼廊等は、指定寄附金事業を活用して再建し、再建した拝殿には阿蘇地域産を含む熊本県産材を8割使っている。また、楼門の復旧現場では、部材の最利用を前提に、次に地震に遭っても倒壊しないよう耐震補強工事を実施しているとの説明があった。



#### （2）阿蘇警察署（阿蘇市）

阿蘇警察署は、阿蘇市と阿蘇郡産山村を管轄する警察署であり、これまで幾多の災害に見舞われたことから、警察機能を維持するため、令和2年

8月10日に現在地に移転開署した。

今回の視察では、新庁舎及び同署の業務概況について説明を受けた後、同署に併設された県警山岳救助隊の訓練施設にて同隊の遭難救助訓練を見学した。

同署から、新庁舎は山岳救助隊の訓練施設の併設のほか敷地内に手押しポンプ式井戸があり、また、災害時には住民の一時避難所として使用できるよう大会議室を1階に配置しているなど、災害に適応した庁舎になっているとの説明があった。

また、県警山岳救助隊は昭和49年に編成され、現在隊員数は26人であり、そのうち阿蘇警察署には女性隊員2人を含む17人が所属しており、視察当日も訓練施設において厳しい訓練が行われ、各隊員が真剣に取り組んでいた。



### (3) 警察学校（熊本市中央区）

県警察学校では、新たに採用された熊本県巡査に対し指導教養及び各種訓練を実施し、適正に職務を遂行し得る警察官を育成している。また、現場警察官等を対象に各警察活動に必要な専門訓練等も実施している。

今回の視察では、警察学校の体制や日課等について説明を受けた後、熊本地震で被災し令和2年3月に新築建て替えが完了した武道場及び同武道

場で行われていた点検教練等の授業を見学した。

警察学校から、当校は全寮制で逮捕術等の相対動作の授業もあるため、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら各種訓練を実施しているとの説明があった。

